

江戸時代に和船造りを手がけていた船大工が源流の佐野造船所は和船の高度な木工技術を生かし、ヨット、モーターボートなど時代に求められる木造船を造り続けている。

その技術から生まれたのがマホガニーの木目も美しい

DOVERと名付けられたクルーザー船である

東京都江東区潮見の京葉線の高

架線近くに佇む「佐野造船所」は、今は亡き船大工の名工と謳われた佐野一郎氏の跡を継いだ9代目・佐野龍太郎氏と実弟の稔氏の兄弟が営む小さな造船所である。

「DOVER」は弟の稔氏が12年掛けて手作りしたマホガニー製のクルーザーで、全長11メートル、定員11名の美しい船だ。随所に凝らされた職人芸を彷彿とさせる「仕事」は、単に船大工にとどまらない木工技術の高さを物語り、水面を切り裂く木造船独特の乗り心地は、船長である稔氏の巧みな操船術と相俟つて、がさつなプレジャーボートが巻き起こす野暮な波も、大型の屋形船の通過したあとに残る引き波も「いき」にいなして行く。

この贅沢なクルーザーが、なんと貸し切りでチャーター可能だというのだ。春の桜の季節から、夏の花火など東京湾とそこに注ぐ荒川や隅

田川などの河川の風物詩はもとより、東京湾の四季を味わう様々なクルーザーに活用できる。残念ながらキッチンは装備されていないが、自前の食材を持ち込んでのディナーラーズも可能である。

「いき」で「贅沢」なオーダーメードのクルーザーを楽しむのは、とても「おとな」な嗜みと云えるだろう。ちなみに、9代目・佐野龍太郎氏の長男である龍也氏が10代目となるそうだ。江戸から続く東京の文化と技術は継承されていくことになる。



【クルーズ申し込み先】

TEL 090-2473-9227

(佐野 稔)

FAX 03-5632-0758
(料金) 300000円(1~5名・税別)

1名増すごとに5000円
(定員) 11名・飲食類持込自由

DOVERチャータークルーズ
〒135-0052
東京都江東区潮見2丁目9-16
TEL 03-5683-1795